

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
看護マネジメント論	NSP44_003	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小石川 好美	403	yoshimi.koishikawa	授業終了後、 火曜日 16：20～17：20		
授業の目的・概要	社会のニーズに応える看護を提供するために、看護管理の概念およびマネジメントの基礎知識・技術を学習する。看護の質向上、質保証のため看護提供システムや看護体制、リーダーシップ・メンバシップについて理解を深め、看護の質に大きく関わる看護職員のキャリア開発について、学生自身のキャリアプランを考える機会とする。チーム医療の中での看護職の役割発揮や多職種との連携・協働、看護職の役割機能について学ぶ。				
授業形式・方法	☒対面授業 ☐遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習) ☒講義 ☒演習 ☐PBL ☐実習 ☐実技 ☒グループワーク ☒反転授業 ☐ディスカッション・ディベート ☐その他 (☒ブレインジョン ☐実習・フィールドワーク)				
学習上の助言	これまで学習した社会保障論、保健医療福祉行政論、看護と関係法規および看護倫理など専門教育関連科目及び実習での学びを整理して受講すること。疑問点は、授業中やリアクションペーパーでの質疑応答で解決するようにすること。				
教科書	系統看護学講座 総合分野 看護の統合と実践[1]看護管理/著：上泉和子/医学書院/2024				
参考書	系統看護学講座看護関係法令/著：森山幹夫/医学書院/2023 看護管理学習テキスト第3版 第4巻 組織管理論/監：井部俊子/日本看護協会出版会/2024 看護管理ファーストブック改訂第2版/編：太田加代/学研/2019				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護を提供する組織の構造や機能、体制について説明できる。		HSU(2)、NS(2)		
②	看護を行う上で必要な法的制度を説明できる。		HSU(2)、NS(2)		
③	看護ケアマネジメントと看護サービスの特徴を説明できる。		HSU(2)、NS(2)(4)		
④	キャリア開発の視点から個人と組織の関係について説明できる。		HSU(2)、NS(2)(4)		
⑤	多職種連携が効果的に機能するための条件と看護の説明ができる。		HSU(2)、NS(2)(4)		
⑥	看護管理に必要な能力について説明できる。		HSU(2)、NS(2)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	看護とマネジメント 看護管理学とは 看護とマネジメント マネジメントの考え方の変遷	講義	事前課題：教科書 p2～15 を読み、重要な点をまとめる。	3	
2	マネジメントに必要な知識と技術 組織とマネジメント リーダーシップとマネジメント 組織の調整	講義 GW・発表	事前課題：教科書 145～168 を読み、重要な点をまとめる。	3	
3	看護ケアのマネジメント 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 患者の権利の尊重 安全管理（医療事故対策 院内感染対策 災害予防と対応）	講義	事前課題：教科書 p18～42 を読み、重要な点をまとめる。	4	
4	看護ケアのマネジメント チーム医療 看護業務の実践	講義	事前課題：教科書 p43～63 を読み、重要な点をまとめる。	4	
5	看護サービスのマネジメント 看護サービス・組織目標達成のマネジメント 看護サービスの提供のしくみ 人材マネジメント	講義 GW・発表	事前課題：教科書 p80～112 を読み、重要な点をまとめる。	4	
6	看護サービスのマネジメント ケアを提供する環境のマネジメント 物品・財的資源・業務量・情報のマネジメント サービスの評価	講義	事前課題：教科書 p112～141 を読み、重要な点をまとめる。	4	
7	看護職としてのセルフマネジメント 看護職のキャリア形成 看護専門職としての成長 タイム・ストレスマネジメント	講義	事前課題：教科書 p66～76 を読み、重要な点をまとめる。「自身のキャリアプラン」をまとめる。	4	
8	看護を取り巻く諸制度	小テスト 講義 GW/・発表	事前課題：教科書 p170～196 を読み、診療報酬のしくみおよび看護がコストとして評価される側面について整理し出席する。	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

総合評価割合 (%)		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	30	10	100
	思考・推論・創造する力	60	0	0	10	0	70
	思考・推論・創造する力	0	0	0	10	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	5	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験による最終試験により学習成果を評価する。				必要に応じて結果のフィードバックと解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	ノートに整理した事前課題と、7・8回目の事前課題を評価する。 また、授業内容の理解およびテーマに対する学生自身の考え方が明確に表現されているかを30%で評価する。				授業中に助言を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①		グループワークでの参加姿勢や意欲を総合的に評価する。				授業中に助言を行う。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	看護師として40年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	実務経験のある教員の講義及び指導の下、看護マネジメントの基本的な知識について理解を深める。 教員の経験から実践事例が提示され教科書を補強しながら学習する。						
そ の 他	- 試験への教科書の持ち込みは不可とする。 - 対面授業に際しては、大学が公表している感染防止対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 - 問題がある場合は授業の参加を認めない。 - シラバスの変更がある場合は随時連絡する。						